

秦梨小学校 総合的な学習の時間の指導計画

総合的な学習の時間でめざす子供：ふるさと秦梨を調査、記録し発信する子

ふるさと学習

| 年 | テーマ | 目標 |
|----|---------------------|---|
| 3年 | 昔の秦梨のくらしを体験しよう | にこにこ山、ふるさとトープ、学区の生き物や山里のくらしについて調査するなかで、自己の課題を解決し、学区への興味を高め、秦梨の人の温かさや昔の秦梨のくらしのすばらしさに気付く。 |
| | | 主な活動：カイコの飼育、コンニャクイモの栽培、コンニャク作り、秦梨の生き物調べ、田植え、稲刈り、炭焼き |
| 4年 | ふるさと秦梨の自然や水を知ろう、守ろう | 乙川、にこにこ山、ふるさとトープ、学区や岡崎市の自然環境について調査するなかで、自己の課題を解決し、ふるさと秦梨の自然環境のすばらしさを発信する。 |
| | | 主な活動：アユの放流活動、ホテル観賞会、ホテルの飼育・放流、市の環境学習（ホテル学校）、環境アセスメント専門家のオンライン・出前授業、田植え、稲刈り、炭焼き |
| 5年 | 作ってみよう秦梨の美味しいお米 | 地域の人から米作りの仕方や里山再生活動について学び、自ら課題を見付け調べ追究したことをまとめるなかで、地域の人々の思いや苦勞に触れ、米作りの現状を考える。 |
| | | 主な活動：※田の先生とともに学校田での米作り（代掻き、田植え、稲刈り等）、炭焼き |
| 6年 | 秦梨の未来について考えよう | 持続可能や安全の視点などで、地域を見つめ直し、地域における防災や諸問題について情報収集するなどして、自ら課題を設定し、追究・発信する。 |
| | | 主な活動：※防災専門家による出前授業、にこにこ山の保全活動、田植え、稲刈り、炭焼き |

【教科・領域との関連】

国語：適切に表現できる力
 社会：郷土の地理、歴史の理解
 算数：数量の応用力
 理科：観察、記録、まとめる力
 音楽：音楽的表現力
 図工：造形的表現力
 家庭：生活に関する知識、技能
 体育：健康安全への知識、理解
 道徳：生きるための道徳性

【生活科との関連】

○調べてみたいことを見付けることができる。
 ○虫メガネや図鑑を使って調べることができる。
 ○自分の考えをもち、話をしたり、絵や文で表現したりできる。
 ○学習したことを生活の中で生かすことができる。

育てたい力（ふるさと秦梨を見つめ続ける力）

| 育てたい力 | 3・4年生 | 5・6年生 |
|-----------------------|--|--|
| 課題を見付け、追究するための計画を立てる力 | ・体験活動をしたり、見聞きしたりする中で自分の調べたいことを見付ける。 ・追究方法を知り、調べる計画を立てようとする。 | ・既習学習や体験活動や各種情報から、個人の課題を見付ける。 ・課題を解決するための手だてを明確にし、追究計画を立てることができる。 |
| 課題について調べたり、考えたりする力 | ・観察、聞き取り調査、図書資料などを使って自分の課題について調べる。 ・地域の人から学ぶ。 | ・地域の人々との関わり、インターネットや文章資料の活用などから、自分の課題について調べる。 |
| 調べたことを伝える力 | ・調べたことを分かりやすくまとめ、自分のことばで伝える。 | ・追究したことに自分の意見を交え主張を分かりやすく伝える。 |
| 生活に生かす力 | ・学習したことを日常生活に生かそうとする。 | ・学習したことを地域で実践したり、発展させたりして、自分の生き方を振り返る。 |

| | 環境・ふるさと学習 | 田、山の活動 | 合計 |
|----|-----------|--------|----|
| 3年 | 31 | 4 | 35 |
| 4年 | 29 | 6 | 35 |
| 5年 | 50 | 20 | 70 |
| 6年 | 60 (防災) | 10 | 70 |

〔家庭・地域〕
 ・地域から学ぶ・地域で学ぶ
 ・山や田の先生の活用
 ・保護者の協力
 ・家庭・地域への発信

環境学習については各学年総合的な学習の時間では15時間～20時間実施の予定